

①ITのあるべき姿の見極め、改革ロードマップ策定

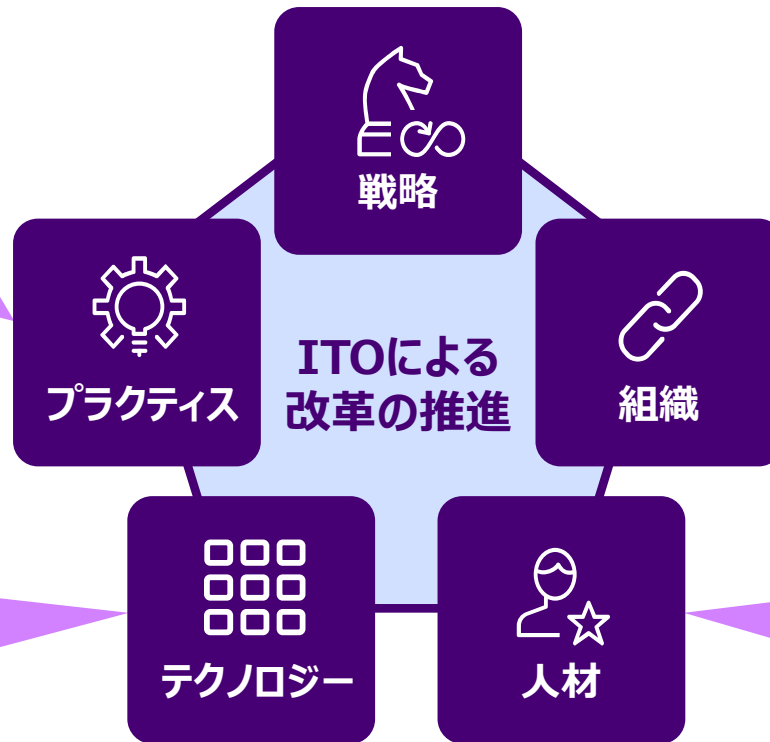
ビジネスの変革を牽引し、テクノロジーの潜在価値を経営に取り込むためのITの「あるべき姿」を定義。
効果を早期に創出しながらIT構造改革を推進するためのロードマップを策定

②可視化・効率化の徹底、アジャイルプロセス導入

ハイパーオートメーションによる効率化、サービス管理による可視化を徹底的に推進。アジャイル開発プロセスとビジネスKPI可視化により、俊敏な付加価値創出サイクルを確立

③Living Systemsアーキテクチャの実現

ビジネスの要求に即応するITを実現するため、クラウド化とシステムの疎結合化により、絶え間ない改善・機能追加が可能な進化し続けるアーキテクチャを構築



④コア機能強化のための組織改革

ビジネス・経営に貢献するIT組織への機能再編、注力すべきコア機能の強化を実現。パートナーシップによるJV設立、転籍・出向を含む人材交流を活用

⑤ITタレント・ディスカバリー・プログラム

ITOで生み出した投資原資・人材余力を活用し、リスキルプログラムを通じてIT戦略企画・要件定義のコア業務スキル、デジタル・New ITの先端技術スキルを持った高度IT人材を育成